

資金運用の状況

1. 資金運用の目的

資金を安全かつ効率的に運用し、財政基盤の強化と、将来の教育研究の発展に資することを目的としています。

2. 資金運用の方針

今後想定される設備投資計画等の資金支出を踏まえ、中長期運用が可能な資金については個別債券を中心とした運用を行い、短期運用資金については定期預金等による運用を行っています。また、投資による社会貢献活動の一環として、ESG 債への投資を行っており、運用収入を確保しながら持続可能な社会づくりに貢献しています。

※ESG 債：一般に環境改善や社会貢献に何らかの効果がある事業を資金使途とする債券をいいます。

ESG は、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取った言葉です。

3. 資金運用の状況

2025 年度は、設備投資の資金支出の減少等により、金融資産が増加しました。

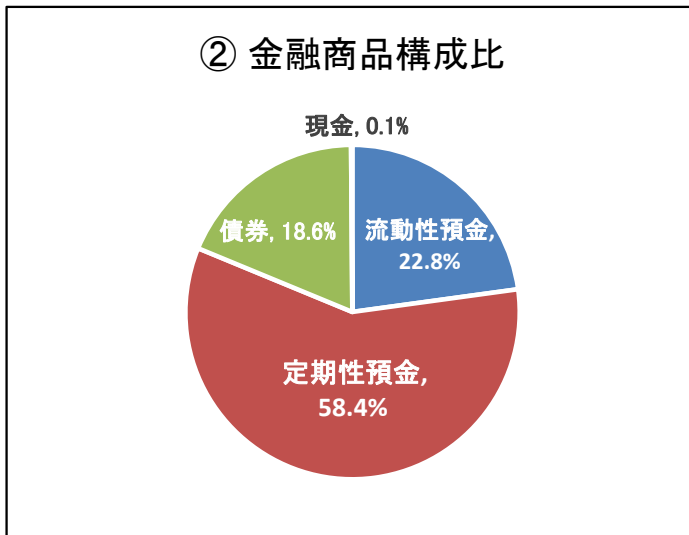
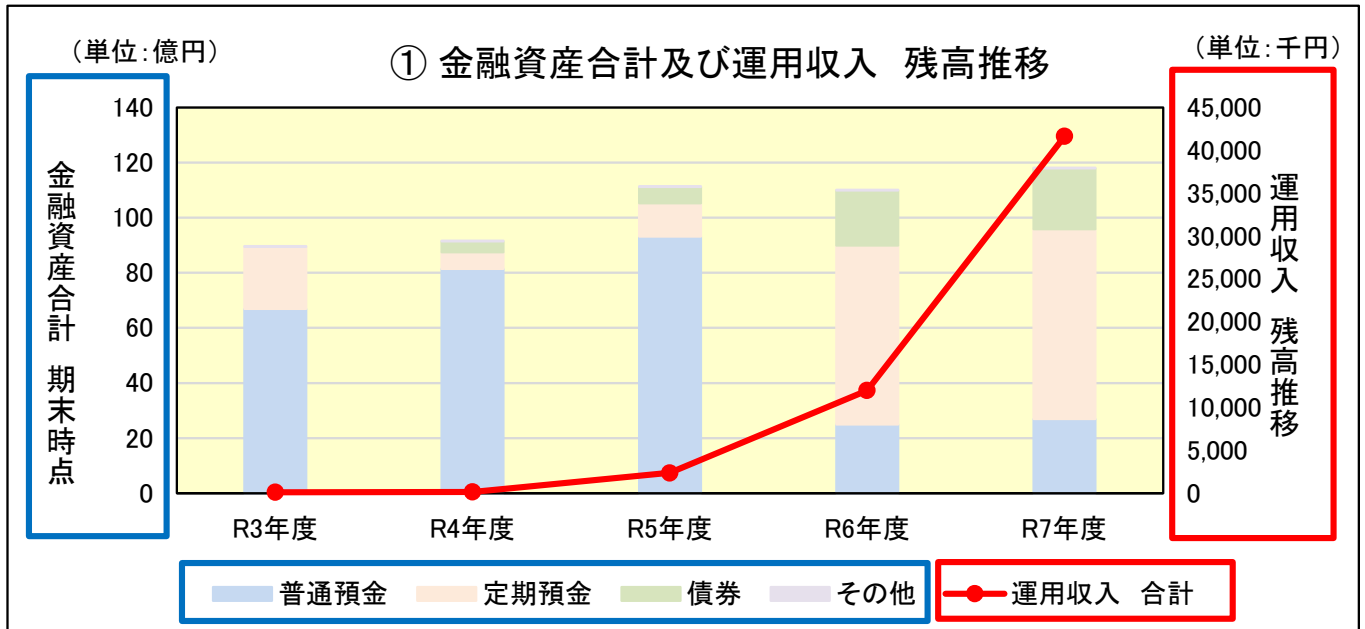
2026 年度は、市場金利の上昇が見込まれる中、新学部設置経費支出により金融資産が減少し、運用収入は前年度と同程度となる見込みです。

○金融資産額、運用収入

(単位：百万円)

年度/種別	預金等	債券	金融資産合計	運用収入（千円）
2021 (R3)	8,965	—	8,965	100
2022 (R4)	8,769	399	9,169	125
2023 (R5)	10,544	599	11,144	2,367
2024 (R6)	9,013	2,000	11,013	11,982
2025 (R7)	9,616	2,200	11,816	41,925

※資産保有額は年度末時点の残高、収入額は当年度収入



③ 有価証券残高に占めるSDGs債残高比率

	R7年度
有価証券残高	2,199,999,408円
SDGs債残高	1,000,000,000円
SDGs債残高比率	45.5%